

女性寄り添い支援事業【京都府】

総事業費	2,968 千円
交付金額	1,484 千円

地域の実情と課題

- コロナ禍を背景とした女性の不安増加
コロナ禍が長期化する中で女性の社会的・精神的不安が多様化・深刻化しており、女性の自殺者も増加するなど、不安を持つ女性への支援が必要。
- 京都府男女共同参画センターや民間団体での女性相談状況
令和3年7月から開始した「女性つながりサポート事業」の相談体制強化により、京都府男女共同参画センターでの女性相談件数が増加しているだけでなく、民間団体にも多くの相談が寄せられており、引き続き相談体制強化の継続が必要
- 京都府男女共同参画センター相談件数
[R2(4月～1月)1,996件] → [R3(4月～1月) : 3,105件]
- 専門性を活かした民間団体での相談件数 5団体598件(R3.7 ~ R4.1)

事業の特徴

京都企業における女性活躍を効果的に推進するため、経済団体等と行政（京都府・京都市・京都労働局）の連携による「輝く女性応援京都会議」（女性活躍推進法に基づく協議会）を母体として、女性活躍推進に向けた人材育成研修、中小企業におけるワーク・ライフ・バランス推進、女性起業家の支援等、職場等における女性活躍支援や、コロナ禍における様々な困難・課題を抱える女性への支援など、地域・家庭等における女性活躍支援等を各団体と連携しながら多角的な取り組みを実施する。

事業の効果

今まで相談がなかった女性も気軽に相談できるよう始めた事業だが、様々な相談が寄せられた。特にSNS相談では夜間(19時～21時)を相談時間とし、開設以降相談件数が増加し、新たな相談者の掘り起こしにつながった。
相談件数500件の目標に対し、相談件数の実績は911件となり、目標を上回った。SNS相談の気軽さが相談者増加の要因と考えている。

目的・目標

女性寄り添い支援事業全体での相談・カウンセリング件数
目標:500件 → 実績:911件

連携団体

連携団体名:輝く女性応援京都会議(22団体)
京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、(公財)大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、(公財)21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

今後の課題

困難を抱える女性への支援が求められる中、女性相談による支援は重要性を増しているが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。

事業の概要

様々な困難・課題を抱える女性が増加する中で、どんな方でも気軽に相談できる体制づくりのため、窓口時間を延長するとともに、SNSを活用した相談対応を強化した。

○女性相談窓口時間の延長

- ・ 京都府男女共同参画センターの女性相談窓口時間を延長し、日中に相談できない方の相談にも対応した

[現行]18時まで ⇒ [延長後]19時まで

[委託先:一般財団法人京都府民総合交流事業団]

相談件数 212件

○SNSを活用した相談対応強化

- ・ SNS相談を開設し、気軽に相談しやすい体制を整備した。

[委託先:特定非営利活動法人エンパワメントかながわ]

相談件数699件

